

アース21総会

市民セミナー開催 地域活動の活性化なども



56社が集まった総会の様子

道内を中心とする有力工務店のネットワーク組織・アース21(菊澤里志会長、(株)キクザワ社長)は去る4月12日、札幌市内で第18回の総会を開

き、前年度の活動報告と決算、そして新年度の活動方針や予算案を原案通り承認した。冒頭のあいさつで菊澤会長は「3月の大地震を支えることにつながる

よりたいへんな被害に悩んでいるが、われわれにできる支援をしながら、一方で仕事をしっかりと続けていくことが経済を支えることにつながる

今年度は、年4回の例会の開催に加え、札幌、旭川、十勝など地域単位での活動の活性化、会員企業の経営スキルアップの支援、市民セミナーなどを行う。

同会は現在60社に迫る会員数となり、補助金事業での協力やいち早い情報が増えたことで多くのメリットが生まれているという。

総会終了後、新建ハウジング編集長の三浦祐成氏による記念講演が行われ、翌日には経営コンサルタント・今泉氏による住宅会社の財務管理とリ

スク管理の講演、さらに組織、企画など4委員会に分かれて今年度の活動について討議した。

また、長期・固定金利の住宅ローン審査で、ユーザーの性別・年齢・職業・世帯人数や返済計画などの情報を数値化し、過去の利用者の返済状況のデータと照らし合わせて融資の可否や融資額を決めるスコアリング方式は、一部での採用を含めると37%の金融機関が実施。前年比4ポイントのアップとなったが、スコアリング方式による審査を行っていない金融機関

が依然6割以上を占めている。融資の際に考慮する項目については、「完済時年齢」「返済負担率」「借入時年齢」「勤続年数」「年収」「健康状態」は9割前後の金融機関が対象としているが、このうち前年より増えているのは「健康状態」だけ(7ポイント増)。他の項目は逆に前年より7〜8ポイント減少しているのが目につく。

北欧製の壁つけ熱交換

第二種は省電力ファン採用

ジェイベック 換気の新製品

ジェイベック(株)ではこのほど、住宅用換気製品2つを同時に発売した。ダクトレスの熱交換換気ユニットと省電力ファン

を搭載した第三種換気システム。外壁に取り付けるダクトレスの熱交換換気ユニット「エアースター」

は、一定のサイクルで給気と排気を繰り返し、排気時に室温を回収して給

気時に加温する。ヒーターを内蔵して給気を暖めることができるなど、スウェーデン製品ならではの寒冷地配慮がなされている。

給気と排気それぞれに独立したファンがあり、30秒ごとに切り替わり運転を行う。排気時に熱交

換素子を通して温度を回収、給気運転時に熱を受け渡す。温度交換効率

は最大85%。換気風量は20〜48m³/hで調節可能。また給気加温ヒーターは700Wまでの間で調節できる。

局所換気扇なのでリフトに使いやすい。また本体を開けばすぐにフィルターを取り出すことができるなど、メンテナンスのしやすさも特徴のひとつ。

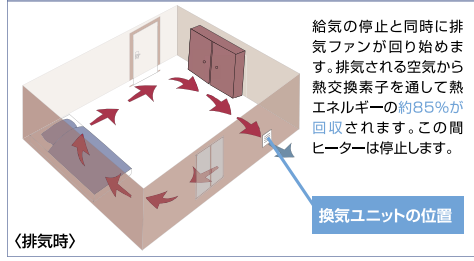
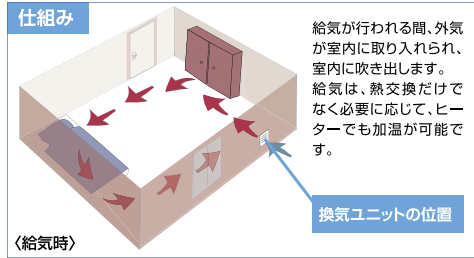
本体は外寸が幅290×高さ340×奥行297mm(スリーブ含む)。配管口径は100mmφ。本体は外壁に埋め込み設置できる。

設計価格は本体と付属品がついて22万8000円(税別)。

もう1の新製品は省電力ファンを搭載した第三種換気システム「グリーンファンMVS-10」。従来のダッチマンと部品を共通化しながら、ドイツ・EBM社製のECモーターを採用することで50%以上の省エネを実現する。



エアースター本体



給気が行われる間、外気が室内に取り入れられ、室内に吹き出します。給気は、熱交換だけでなく必要に応じて、ヒーターでも加温が可能です。

給気の停止と同時に排気ファンが回り始めます。排気される空気から熱交換素子を通して熱エネルギーの約85%が回収されます。この間ヒーターは停止します。



グリーンファンの本体。ハウジングはダッチマンと共通

外静圧ゼロ時で480m³/h、200Pa時で360m³/h。風量モードは3段階で、さらに必要換気量設定に合わせた11段階の風量・電力消費設定が可能。これにより消費電力は4〜85Wとなる。

本体ハウジングはダッチマンと共通するため、既存品のファン更新も可能。なお、周辺部材はこれまで通り給気口・パスカル7、排気口・ブリーズ100、ダクト・WTフレキダクトなどと組み合わせる。

ファン本体の設計価格は12万6000円、切り替えスイッチが1万5000円(いずれも税別)。

商品の問い合わせは同社各拠点へ(札幌☎011-781-8201、新潟☎025-250-8900など)。

6月10日 札幌
道住宅検査人の登録講習会
(社)北海道建築技術協会

では、既存住宅の現況調査と改修計画などに関するアドバイスを適切に行う技術者・北海道住宅検査人の登録講習会を、6月10日(午後1時半から4時半まで)札幌エルプラザ4階大研修室(札幌市北区北8条西3丁目)で実施する。

北海道住宅検査人は、一昨年から同協会が登録制度を開始。国の補助事業である長期優良住宅先導事業に2年連続で採択された北海道R住宅システムでの性能向上リフォームで、同検査人による現況調査とアドバイスが義務づけられている。

受講にあたっては、一級・二級・木造いずれかの建築士資格があり、住所